

北京留学の為に知っておくべきこと

教養学部教養学科総合社会科学分科国際関係論コース 3年

大宮 凱

留學生活の中では普段の生活では、問題にならないような点にまで不安やストレスを感じる事が多くあります。例えば私の場合は北京に来たばかりの頃は、授業の履修や語学面だけでなくシャワーや洗濯機の使い方、ご飯はどこで食べるのかなど、些細なことについても慣れないことばかりで苦勞をしました。不安やストレスを減らすためには北京大学の環境について事前に知っておくことが非常に重要です。さらに、留學中はどのような姿勢で日々を過ごすかという点について、留學を経験した人の実体験を基にした意見にも事前に触れておくことは心の面での大切な準備になるでしょう。これから主にキャンパスアジア・プログラムに参加し北京大学に留學する皆さんに向けて、良い留學生活を送ることができるようにできる限りの情報、経験をここに書き留めたいと思います。

1. 北京大学の環境

寮の環境は留學生の生活に適したものでした。キャンパスアジア・プログラムの學生が入居する寮は「中関新園5号楼」という寮で、12階建ての建物です。部屋は2人部屋で、ルームメイトは同じ国籍の人になることもあります。部屋の中には机、ベッド、洗面台、ポット、テレビ、押入れが揃っており、ベッドカバーなどを買う必要は全くありません。冷房（エアコン）と暖房（暖気という全館暖房のシステム）は完備されています。トイレとシャワーは共用で、同じ階にあります。留學生専用の寮なので洋式便器がちゃんとあります。洗濯機も同じ階にありますが、これは使う前に洗濯機使用のためのお金をチャージする必要があります。寮から100メートルほどの所にコンビニがあり、基本的な生活用品やカップ麺はそこで買えます。最寄りの大学食堂は「中関園食堂」といい、300メートルほどの距離があります。食堂に行かなくても中国ではデリバリーサービスがとても発達しているので外出が億劫な日、忙しい日はこれを使いましょう。

ネット環境には注意してください。中国では基本的にはgoogle、LINE、facebook、twitter、などは使えません。北京大学のwi-fiではgoogleが提供するサービスが使えることになっていますが、全く安定していません。有料のVPNを事前にインストールしておくことを強くお勧めします。

キャンパスの環境はとても整っており、暮らすためのものが一通り揃っています。食堂は先ほどの「中関園食堂」も含めて8箇所あり、それぞれ各地の料理、ムスリムの料理などの特色ある料理を食べることができます。僕のお気に入りには農園食堂で食べる「麻辣香鍋」で、週に1回は必ず食べていました。しかし注意点があり、それは営業時間が短いことです。たいていの食堂が朝食：7時

～9時、昼食：11時～13時、夕食：17時～19時しか営業しません。それを逃すと営業している食堂は極端に少なくなります。コンビニは教室棟の中などにいくつかあり、飲み物やパンはここで買えます。他にも銀行、ATM、郵便局、携帯ショップ（僕は北京に着いた日にここで携帯を契約しました）、スーパー、教科書などを売る書店などがあります。

北京大学の近く（約1km）には「中関村」という繁華街があり、大型スーパー（カルフル）、たくさんのレストラン、ユニクロやH&Mなどたくさんの服屋があります。友人と遊ぶ、キャンパス内では手に入らないものを買いたい時はここに行きましょう。「五道口」という繁華街も大学から近く（約1.5km）、韓国、日本風のバーやレストランがたくさんあり、若者で賑わっています。飲みに出かけるにはここがいいかもしれません。

大学周辺の日系の店としては中関村にユニクロと丸亀製麺とペッパーランチ、五道口にユニクロとサイゼリヤ、大学の西南門のすぐ外に吉野家があります。北京には他にもCoCo 壺番屋や一風堂などの日本式ラーメン店、中国人が経営する日本料理屋もあるので、心や体が疲れたと思ったら馴染みの味を食べて自分を癒しましょう。

2. 北京大学の授業

北京大学の授業の履修登録をする流れは基本的には東京大学のものと同じです。1週目は履修登録前のお試し期間で2、3週目に履修を順次確定させていきます。東京大学と異なる点は全ての授業に履修人数制限がある点です。人気、あるいは少人数の授業は制限を超える履修登録者が出るのでその場合は抽選が行われます。この場合は早い段階で履修登録をしないと抽選に参加できませんので注意が必要です。制限人数を満たした授業については欠員が出ない限り履修登録はできなくなります（キャンセル待ちのような状態）。

北京大学の時間割は東京大学のものとは異なり、1コマ50分で時間が区切られており、たいいていの授業は2コマまたは3コマ連続で授業を行うという形式になっています。1時間目は8時に始まり（8:00～8:50）、12時間目（20:40～21:30）まで設定されています。夜遅くまで続く授業もありますのでよく吟味して授業を選びましょう。

私は主に専攻としている国際関係論に関連した授業を受講しました。全部で5つの授業を受講し、国際関係学院（北京大学の国際関係論を専門とする学部）の授業では「中国政治と公共政策」、「台湾政治概論」、「中華人民共和国対外関係史」を受講しました。他に歴史学部の「近現代日中関係史」、



农园营业时间		
一层	中午	11:00-13:30
	节假日	11:00-13:00
	晚上	17:00-19:00
二层	早餐	7:00 - 9:00
	中午	11:00-13:00
	晚上	17:00-19:00
三层	中午	11:00-13:30
	晚上	17:00-21:00

食堂の営業時間の一例。



食堂ではこのようなご飯が10元ほどでお腹いっぱい食べられます。

文学部の「日本中国学」(日本における中国研究について)を受講しました。「中国政治と公共政策」のみ英語での授業でその他全て中国語でした。英語の授業は比較的少なく少人数授業が多いため抽選になることがほとんどなので、英語の授業を中心として履修を組むのは困難です。中国語の授業がメインとなることは覚悟しましょう。

履修計画を立てる際の注意点は①成績評価の方法を確かめること②自分のねらいに合っているか考えること、です。「①成績評価の方法を確かめること」については、その授業でのレポー

トの有無、期末試験や中間試験の有無、成績評価に占めるレポートや試験の割合などをよく見て、他の授業と見比べることが必要だということです。留学中は思わぬ難題や困難が降りかかってくることもあります。語学の面での困難もあります。期末試験ばかり、あるいは試験日程が重なってしまうとそれぞれの試験で本領を発揮できずに終わってしまうかもしれません。レポートが必須の授業であれば指定字数があまりに多い授業も少なからずありますので注意してください。どの授業にもバランスよく自分の時間と能力を注げるよう、履修計画を立てる際にはよく想像力を働かせる必要があります。「②自分のねらいに合っているか考えること」について、これが重要なのはせっかく北京大学にまで留学にやってきたのに自分が北京に来た意味を見失ってしまっは意味がないからです。私は「北京大学に留学したら日中関係と中国政治について中国の視点から学ぶ」と決めていました。その所期の目標を達成するため、履修する授業にはある程度の共通性を持たせることとしました。自分の目標に合わせて幅広い種類の授業から履修を組むことができるのがキャンパスアジア・プログラムの特長です。これを最大限に活用して留学の目標を達成できる履修を組みましょう。

3. 北京大学留学を通して学んだこと、感じたこと

北京大学は中国で一番の大学であり(先生や生徒はよくこの言葉を口にしていました)、中国の学

请注意, 1、没有上课时间的课程不在此课程表内 2、红色字体白底部分为可能冲突的课程 3、包括主修选修课程 导出到 excel (点击鼠标右键-目标另存为)

节数	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六	星期日
第一节		中华人民共和国对外关系 (二教109) (备注:)每周 考试时间: 20190611 上午;					
第二节		中华人民共和国对外关系 (二教109) (备注:)每周 考试时间: 20190611 上午;					
第三节		中华人民共和国对外关系 (二教109) (备注:)每周 考试时间: 20190611 上午;			日本中国学 (理教412) (备注: 留学生课程)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试		
第四节					日本中国学 (理教412) (备注: 留学生课程)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试		
第五节							
第六节							
第七节	中国政治与公共政策 (国关C210) (备注: 其他专业为限选, 英文授课, 最后一周随堂考试)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试						
第八节	中国政治与公共政策 (国关C210) (备注: 其他专业为限选, 英文授课, 最后一周随堂考试)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试						
第九节	中国政治与公共政策 (国关C210) (备注: 其他专业为限选, 英文授课, 最后一周随堂考试)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试						
第十节	台湾政治概论 (三教207) (备注:)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试		近现代中日关系史 (理教407) (备注: 开卷; 本专业限选)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试				
第十一节	台湾政治概论 (三教207) (备注:)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试		近现代中日关系史 (理教407) (备注: 开卷; 本专业限选)每周 考试方式: 堂考、论文、或统一时间考试				
第十二节							

版权所有©北京大学计算中心
电子邮件: sermis@pku.edu.cn

私の時間割はこのようでした。第一节から第四节までが午前、第五节から第九节までが午後、第十节以降が夜の時間帯です。

術界では対外関係はどのように論じられているのかについて授業を通して触れることができました。一つ目の例として日中関係の中での問題の捉え方があります。日中関係においては戦前、戦中、戦後それぞれの時代ではどのような事象が問題となり、なぜそれが重要なのかということについては日本側の論じ方とは全く異なる切り口からの議論が展開されており、それを理解するのは大変



主要な教室棟の一つ、「第二教学楼（二教）」。

でもありました。最近の事象でいうと2000年代の日中関係悪化の原因として靖国神社参拝問題、歴史教科書問題、軍備増強などを指摘する議論がありました。これらはもちろん日本でも聞くことのある議論ですが、これらは日本が再び台頭する兆候のようにして見なされていました。

二つ目の例として中国政治における台湾の重要性があります。日本から見ると台湾は政治的には「微妙な立場にある地域」ほどの認識しかされていないのではないのでしょうか。大陸中国との政治、経済の関係は熱心に議論はなされても、台湾が変数として登場することはあまりありません。しかし、中国の立場から台湾を眺めると、台湾問題は“内政問題”でありながらも、日米などの諸外国との関係の中において台湾問題は提起しないことはない非常に重要な要素として捉えられていました。台湾問題は中国政府にとって微妙な問題であると同時に外交の上においても鍵を握る問題であると言えます。これは私が予想していなかったことであり、非常に新鮮なインスピレーションを受け、来学期台湾に1学期留学し、台湾の視点にも触れてみようと思うようになりました。私は来学期台湾に行ってくる予定です。台湾での経験の後に私はより深くこの話題について論じることができるようになっていでしょう。

三つ目の例として中国内政における共産党の立場です。共産党はもちろん中華人民共和国の執政党として大きな力を握っています。しかし、普段は共産党は市民に対して明らかな形で力行使することは極めて少なく、市民も共産党（あるいは政府）の力の行使の存在を意識していないということです。もちろん町中に共産党の宣伝ポスターが溢れ、どこにでも共産党に関するものを見つけることができますが、だからと言って市民が常に共産党について意識しているというわけではなく、むしろ“共産党”や“政府”といった存在は平時には意識されないという状態であると言えます。したがって、共産党が市民を圧迫している、抑圧しているというのは多くの国民には当てはまらないことであり、民主化、改革などといったことは大多数の国民が考えてはいないことなのです。

このような発見があったように、同じ「日中関係」や「台湾」という問題を見るときでも日本と中国の見方が異なるということが改めて実感されました。よく「様々な視点から物事を考える」だ

とか「多面的な視点」といった言葉が様々な場面で踊りますが、それを実際に行うのはとても困難です。なぜなら人は意識的、無意識的、明示的、非明示的に周囲の環境の影響を受け自身の認識や思考の枠組みを形作るからです。私は中国・北京大学ということなる環境に身を置くことで自分がいかに日本で周囲の環境の影響を受けていたのか、そしてことなる見方や考え方とは具体的にどのようなものか知ることができました。中国ではどのように論じるのか、どのように情報を取り揃えて語るのかという「中国の視点」は、中国に来てこそ深く接することができます。私は日本では触れることが非常に難しい「中国の視点」に触れたことで、これからの大学での学びをより深めていくことができるのだらうと感じています。国際関係論の中でも東アジア地域内関係と中国政治を主眼に据えていこうと考えており、その探究の中で日本の視点をはじめとした“以前から馴染みのある”視点だけでなく留学を通して触れた新たな視点からも物事を見つめるようにしたいと考えています。

さらに、「視点」や「語り方」において差異があるという発見をしたのは授業を通してだけではなく、日々の生活もその発見に大きな役割を果たしていました。北京大学には韓国人（かなりたくさんの韓国人が本科生あるいは留学生として北京大学で学んでいます）をはじめとして欧米やアフリカなど世界各地からの学生が集っています。私はそのような学生と関わる中で、国ごとで中国に対する見方に差異があること、日本に対する見方にも差異があること、同じ事件、身の回りの事象に対する感じ方に差異があることを実感しました。特にたくさんの韓国人の学生と関わる中で中国政治の事象や日韓関係について私（あるいは私たち）との間で見方に大きな違いがあると知り、これは留学の中で得た経験の中でも指折りの有意義な経験となりました。

4. 留学の際に大切にしたいこと

一 目標のために計画的になること

北京大学に限らず留学に渡る人は誰しも何かしらの目標を持っているはずですが、もし目標が全くなくただ海外暮らしがしたいだけというのなら留学という形はお勧めしません。休学してワーキングホリデーに行く方が自由で楽しいかもしれません。あえて留学して海外の大学で何かを“学ぶ”という選択をしたのであれば、その大学で何を学べるのか、それをどうやって学べるのか（授業、サークル、その他交友関係）について前もってある程度想像を膨らませておきましょう。しかしながら私が北京で経験したように、その土地に到着して暮らしを始めて初めてわかる交流組織の存在やプログラム、人との繋がりもたくさんあるものです。どのようなコミュニティに属するかは人によって千差万別ですので誰かをお手本にするということもできません。そのような状況にあっても、自分の所期の目標に合うように計画的に授業や現地の大学のプログラムや交流活動などに参加していくことは大切です。留学は1年あるいは半年という、気づけばあっという間に終わってしまうような期間しかできないものなので、漫然と生活するのは非常にもったいないです。

二 積極的に場に出ること

計画的に様々な場に参加すると同時に、「積極的になる」という姿勢も大切です。というのも

短い留学の期間の中でそのプログラム、その交流会は1度しか開かれないものかもしれませんし、1回のイベントを逃すとその後のいくつもの催しについてのお知らせや誘いも逃すということになりかねません。

留学では人との繋がりが非常に重要です。例えば授業で周りの人に声をかける、誰かと話す、こういうことをするだけで授業中に助け合う人、授業後の話し相手、休日に一緒に遊びに行く友人が増えていきます。さらに、人と繋がる中で何か有益な情報をくれたり、さらに他の人を紹介してくれたりすることもあります。日本にいるときのように生活基盤の整っていない中では、積極的に人と関わる中で助けをもらう（時には人を助ける）ことで大きく生活を豊かにすることができます。

私のイタリア人の友人がこぼした言葉を紹介します。彼女が言うには、日本人は「仲良くなれば楽しく、明るく、たくさん話してくれるのに、仲良くなるまでは全然話してくれない」人が多く、その結果ある日本人学生とは「仲良くなるまで時間がかかってしまって、学期末には仲良くなったけど既に帰国の時間が迫っていて短い間しか仲良くできなかったのはとても残念だった」と言っていました。確かにそのような傾向はあると思います。このようなことになってしまっは勿体ない！留学中の学生や留学生と関わる地元の学生は皆お互いに交流したいと思っています。いつもより積極的に出ても不快に思われないばかりか良い結果をもたらすことの方がはるかに多いので、いつもよりも一歩外に出ていく心構えを持ちましょう。

三 心の余裕を保ち続けること

留学期間中には良いこと、楽しいことばかりが起きるわけではありません。時には辛いこと、乗り越えなくてはならないことも起きますし、きっと苦難は東京にいるときよりも多いでしょう。さらには家族、友人とは遠く離れた地で暮らすわけですから心の疲れを癒すことも簡単ではありません。それでも日本に帰国するまでの間その国に住み続けなければならないのです。留學生活の間ずっと頑張り続けていたらどこかで心が折れてしまうかもしれません。そうなってしまうとせっかくの留学も実り多いものにはなりません。留學生活を持続可能なものにすることは大切で、そのために定期的に休む、好きなことをする、好きなものを食べるなどを通して心の余裕を保ち続けることもまた大切です。私は夜には好きな音楽を聴き、留学の前半には一人旅行をして自分の生活のペースを取り戻してもいました。ときには日本食も食べて心を癒しました。留學中に目標に向かって頑張ることは大切ですが、留學生活全体を通して実り多きものにするためには休むべきところで休むこともまた肝要です。

私を北京大学に派遣してくださった EALAI の事務局の方々、担当の先生、留学に際して手助けいただいた教務課、国際交流推進課、GO Global オフィスの方々に感謝を申し上げます。北京で貴重な経験をさせていただきありがとうございました。そしてこの報告書が、キャンパスアジア・プログラムを始めとした留学を通して志ある皆さんがその想いを実現する一助になればと願っています。

